

(参考様式5;HP公開様式)

政務活動費の調査研究に係る海外調査、宿泊を伴う県外調査の概要

1 題目：渡辺大喜 政務活動

2 調査報告概要

調査者 会派名等	[会派名、調査者全員の氏名] 浅川力三、久保田松幸、宮本秀憲、藤本好彦、飯島力男 桐原正仁、渡辺大喜
調査内容	1 調査目的 令和5年10月、国・自治体・民間レベルで深まる日台関係を背景に、山梨県日台友好議員連盟を結成。今回、メンバーのうち7名が、本県においても台湾との交流を活性化し、地域振興につながる外客誘致・県産品の輸出・発展する海外の自治体との地域間交流促進のための方策提言の検討を目的に、現地調査を実施。 2 調査テーマ 台湾における訪日旅行の動向・日本産の食品流通状況及び物流の現況・台湾の地方における海外との地域間交流の実情 3 調査期間 令和 6 年 4 月 1 5 日～令和 6 年 4 月 1 8 日 (3 泊 4 日) 4 調査地 [海外→国名・都市名] ・ [国内→都道府県名・市町村名] 台湾(台北市、新北市、台中市、桃園市)

3 調査テーマ毎の調査項目と選定理由

〔調査テーマ〕 台湾における訪日旅行の動向	〔調査項目〕 ○コロナ禍後の台湾から日本や本県への訪日客の現況 〔選定理由〕 ○インバウンド比率の高い本県において、コロナ禍後のインバウンド需要の取り込みは重要な県政課題。 台湾は令和5年の年間宿泊客数で最多の23万3千人となっており、他国に比べて日本の地方への訪問傾向も高い。 〔調査結果の活用方針〕 ○県政におけるインバウンド観光促進策の検討資料として活用。
〔調査テーマ〕 台湾における日本産の食品流通状況及び物流の現況	〔調査項目〕 ○台湾の消費市場における日本産食品や県産品の流通状況 ○台湾における物流の現況 〔選定理由〕 ○近年、県産のモモやブドウ、日本酒やワインなどの輸出が拡大。 台湾市場では、多くの日本産の食品が受け入れられている状況。 今後、国内市場の縮小がさらに見込まれる中、海外マーケットの需要を確保し、輸出を促進することは重要な県政課題。 〔調査結果の活用方針〕 ○県政における県産品輸出促進策の検討資料として活用。
〔調査テーマ〕 台湾の地方における海外との地域間交流の実情	〔調査項目〕 ○台湾の地方における海外との地域間交流の状況と今後の展望 〔選定理由〕 ○近年、日台間の交流は国政レベル・地方レベルでも活発化しており、本県においても、発展し活力ある台湾の地域との交流を促進していくための方策を検討していく必要がある。 〔調査結果の活用方針〕 ○県政における日台地域間交流促進策の検討資料として活用。

4 調査項目に係る調査都市・施設・担当者等の選定

調査項目	都市名・施設名・担当者名及び選定理由
コロナ禍後の台湾からの日本や本県への訪日客の現況	[都市（市町村）名・施設名・担当者名] ○台北市「LION TRAVEL」 東北アジア部 課長 [選定理由] ○台湾最大の旅行社で、団体ツアーからテーマ別の旅行まで、幅広いツアーのラインナップを有し、本県への送客も多い。
台湾の消費市場における日本産食品や県産品の流通状況	[都市（市町村）名・施設名・担当者名] ○台中市「裕毛屋スーパー」 代表取締役 ○台北市「梅林水果行」 ○台北市「微風スーパー」 総経理 [選定理由] ○裕毛屋は、無添加・自然志向の日本食品を多く扱う高級スーパー。 ○梅林水果行は、台北中心街の高級フルーツショップ。 ○微風は高級百貨店グループのデパ地下スーパー。
台湾における物流の現況	[都市（市町村）名・施設名・担当者名] ○新北市「台北港自由貿易港区」 董事長 ○桃園市「大園長栄物流センター」 長栄物流 董事長 ○桃園市「遠雄航空自由貿易港区」 董事長 [選定理由] ○台北港自由貿易港区は台湾の主要な海の玄関口 ○大園長栄物流センターは、台北港や桃園国際空港の中継物流パーク ○遠雄航空自由貿易港区は、台湾の主要な空の玄関口
台湾の地方における海外との地域間交流の状況と今後の展望	[都市（市町村）名・施設名・担当者名] ○新北市議会 副議長 陳鴻源 ○台中市政府 観光旅遊局 旅遊行銷科長 [選定理由] ○新北市は台北市の衛星都市として発展した人口規模1位の直轄市で、台湾北部の中核的な都市。 ○台中市は商工業都市として発展した人口規模2位、台湾中部の直轄市。昨年、北杜市と台中市政府観光局が観光交流に関する協定を締結

5 - 1 調査内容

○調査テーマ：（ 台湾における訪日旅行の動向 ）

調査項目	コロナ禍後の台湾から日本や本県への訪日客の現況		
調査都市等	台北市「LION TRAVEL」	調査日	4月15日
調査結果概要	○設立40周年、社員2400名(コロナ前は3300名)、10年前に上場し、売上は年300億台湾ドル(約1500億円)、年間30万人を日本に送客。うち、山梨県を含む関東エリアには年4万人を送客。東京と沖縄に支社を有し、来年は大阪にも開業予定。 ○関東エリアへ送客する場合、山梨県では河口湖・山中湖・忍野八海、西湖いやしの里が定番のコースに入る。オーバーツーリズムの状況でも、定番観光地は外せない。 ○宿泊では春日居びゅうホテル、フルーツ狩り(イチゴ、モモ、ブドウ)では見晴し園への手配が多い。 ○テーマ型のツアーでは、登山・サイクリング・マラソンなど専門部署もあり、富士登山には毎年1200名を送客し、富士山周辺に宿泊。 ○富士山周辺以外の認知度の低い地域へのツアー造成については、プロモーションや諸条件の検討が必要になるので、個別に相談してほしいとのコメント。		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
渡辺大喜	台湾大手旅行会社LIONトラベルによると、多くの台湾人旅行者が富士山を目的に山梨県へ訪れているが、ほとんどの旅行者が宿泊せず、また富士五湖地域のための観光で、日帰り観光が主流となっている。台湾人は登山やスポーツにも興味があるので八ヶ岳等の新たな登山や、スポーツイベントを開催、PRすることにより滞在型観光の促進、オーバーツーリズムの解消や県全体へ経済効果を波及させることができる。

5-2 調査内容

○調査テーマ：（ 台湾における日本産の食品流通状況及び物流の現況 ）

調査項目	台湾の消費市場における日本産食品や県産品の流通状況		
調査都市等	台中市「裕毛屋スーパー」	調査日	4月15日
調査結果概要	○1988年、「いなげや」との合併により台中市内に開業。2003年に合併を解消後、質の高い日本食品と無添加（防腐剤、酸化防止剤等の化学添加物）の自社食品を販売する自然志向のスーパーに転換。 ※11月以降、定番商品は全て無添加となる。 ○現在、店舗は1店舗のみで、売上高60億円、正社員200名、パート400名。 ○謝明達会長自ら食品の高温急速冷凍や無添加の天然酵母パンの開発に携わるなど、こだわりの自社商品開発と、日本の自治体や産地と連携した質の高い果実やブランド牛、天然水産品、食品類の仕入が、富裕層の固定客から支持されている。 ○自社セントラルキッチン製造の無添加惣菜も極めて豊富で、試食サービスも充実。 ○視察当日は、愛媛県物産展開催中で甘平・デコポン・清見オレンジなどを販売。 ○山梨県物産展コーナーも設けられ、日本酒、ワイン、加工食品などを販売。季節に応じ、モモやブドウなども販売され、今後も新たな県産品の取り扱いが期待される。		

調査項目	台湾の消費市場における日本産食品や県産品の流通状況		
調査都市等	台北市「梅林水果行（フルーツショップ）」	調査日	4月18日
調査結果概要	○創業30年、台北市中心の商店街で二世代にわたって袁一族によって営まれてきた高級果物店。政界や上場企業などロコミのみの固定客の贈答品需要が中心のハイエンド向けの経営。 ○日本産のフルーツを30種類以上扱い、初期から青森県産のリンゴと山梨県産のモモを扱っている。大阪に同族企業の輸出事業者が拠点を置いており、日本各地から品質の高いフルーツの仕入を行っている。 ○視察当日は、日本産のものでは、静岡の温室マスクメロン、長崎のビワ、デコポン、リンゴが販売されていた。 ○最近、顧客から、シャインマスカットの香りが昔ほど良くないとの評価もあるなど、日本のフルーツを良く知る厳しい顧客を意識した徹底した品質管理とサービスが信条の老舗である。		

調査項目	台湾の消費市場における日本産食品や県産品の流通状況		
調査都市等	台北市「微風スーパー」	調査日	4月18日
調査結果概要	○「微風広場」は2001年に台北市で創業された高級ショッピングセンター。現在は、市内に8店舗を展開。 ○「微風スーパー」は、日本のフルーツや食品、雑貨などを多く扱うデパ地下スーパーで、社長は日本人の西川正史氏。コロナ前も社長を務めていたが、コロナ禍により帰国。最近、復帰したものの減少した顧客が十分に回復していない状況とのこと。 ○視察当日は、青果物売場で鹿児島島のサツマイモ、愛媛のアンコールオレンジ、デコポン、和歌山の瀬戸香、鹿児島島の黄金柑、長崎のビワ、静岡のマスクメロンを販売。 ○県産品では、北杜市産の特別栽培米「スーパームーン」、ウイスキー白州、ワイン、スパークリング日本酒「七賢」を販売するなど、品ぞろえが極めて豊富。 ○視察を仲介していただいた台湾の大手青果卸「商田実業」の会長が同席し、当方のPRの結果、新たに山梨県産のサクランボを取り扱いたい旨、申し出があった。		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
渡辺大喜	国産フルーツや牛肉など、日本製食品がずらりと並んでいた。台湾国内において日本の農作物の人気ぶりを改めて認識した。 顧客の中には厳しい評価をするほど日本の農作物に大変な意識が感じられる。どのスーパーも品質管理において神経を使いながら販売に意欲的であると感じた。

5-3 調査内容

○調査テーマ：（ 台湾における日本産の食品流通状況及び物流の現況 ）

調査項目	台湾における物流の現況		
調査都市等	新北市「台北自由貿易港区TPCT」	調査日	4月17日
調査結果概要	○台北港は6つの自由貿易港の一つで、台湾北部最大の敷地(111ha)を有し、税制・通関上の優遇措置や物流施設内での自動車(日系含む)の委託加工・再輸出、複数国間での貨物混載などにより、アジアのハブ港としての地位向上を目指している。 ○TPCT(台湾港コンテナ埠頭株式会社)は台湾初の海運グループ3社(長栄、萬海、陽明)の投資による港湾施設運営会社で、2003年に50年契約で政府と調印。 ○積載量24,000TEU(20フィートコンテナ)の世界最大のコンテナ船の停泊が可能。 ○現在、4バース(停泊地)を有し、ガントリークレーン61基、1万坪の倉庫が設置され、2025年に新たなバースが建設されると、年間305万TEU以上の処理能力となる。 ○最先端技術でゲートからの搬入搬出時間は20分と効率化。複数の工業区域が隣接、高速道路が接続し、桃園国際空港まで20分、台北まで30分とアクセスも良好。 ○台北に近いことから、日本産加工食品の流通拠点としての成長が期待される。		

調査項目	台湾における物流の現況		
調査都市等	桃園市「大園長栄物流センター」	調査日	4月17日
調査結果概要	○運営会社の長栄物流は、世界4位のコンテナ物流企業「長栄海運」を中核にしたエバーグリーン・グループ(海運・航空・ホテルなど)傘下の企業。 ○大園長栄物流センターは、台湾最大(37,740㎡)のロジスティックス・パーク。 ○近くに桃園国際空港があるため、高さ規制により、4階建てに制限。 ○4階は、日系の自動車(スズキなど)メーカー、3階は自社倉庫、カルフルーの家電用品(一時保管用の中継地として利用)、オランダの半導体部品メーカーなど。1階は、全てシンガポール系のEC“Shopee”、その他は、韓国系のEC“Coupang”、大手スーパーやセブン、ファミマ、半導体部品メーカー(日立など)と契約。 ○グリーン物流を目指し、グリーンビルディング認証を受けている。 ○長栄物流は台中市で、今回の視察の仲介者である悌裕源と合併で物流会社を設立。日本産のフルーツや食品を更に輸入していきたいとのコメント。		

調査項目	台湾における物流の現況		
調査都市等	桃園市「遠雄航空自由貿易港区」	調査日	4月17日
調査結果概要	○1997年に設立。桃園国際空港の航空貨物の通関、保税、保管、輸送を担う。 ○空港と600mの専用車線で結ばれ、45haの広大な敷地に、航空貨物ステーション、倉庫オフィスビル、付加価値パーク、物流センターなどの多機能エリアを有する。 ○主に高付加価値部品やIT関連産業の入居を誘致。最先端の航空貨物・付加価値物流・オペレーション・倉庫などの機能を統合し、航空貨物輸送代理サービス、生鮮品急送、コールドチェーン、自由貿易港区等の多様なサービスを提供。 ○自由貿易港区には34社が入居。18社は多国籍企業。DHL、近鉄エクスプレス、ホンハイなど。2期工事も終了したので、今後は世界的に著名な企業も入居予定。 ○2日間で全世界に輸出できるため、台湾の貿易の72%が空輸。自社の年間売上は6兆円超で、10兆円超えも視野に入っている。 ○山梨県産フルーツは、当該自由貿易港区から入っており、輸出増が期待される。		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
渡辺大喜	多くの台湾人は日本料理や食材に関心がある。また日本人よりも健康意識が高く、無添加・無農薬食品が多く流通している。実際に台中市の高級スーパーを視察すると多くの日本食材や無農薬野菜が店頭に並び、日本国内よりも高額な金額で売られていた。店のオーナーいわく、まだまだ日本食材のマーケットは成長する見込みで、山梨の甲州牛や新たに開発されたサンシャインレッドにも関心をもっていただいた。山梨県の農畜産物の販路拡大を考えるとであれば台湾は非常に魅力のあるマーケットであり、県としても輸出拡大に向けてのPRやインフラ整備は急務である。

5 - 4 調査内容

○調査テーマ：（ 台湾の地方における海外との地域間交流の実情 ）

調査項目	台湾の地方における海外との地域間交流の状況と今後の展望		
調査都市等	新北市議会	調査日	4月16日
調査結果概要	○台北市を囲む衛星都市として発展し、台湾最大の人口約400万人を有する。 ○市長は、総統選の国民党候補となった侯友宜(2028.12.25～)。 ○新北市議会は、定数66名、第4期議会は2022年12月25日に成立。任期は4年。 ○国民党が33議席、民進党が28議席を占める。議員の男女比は、男性58%(38名)、女性42%(28名)。選挙区は13選挙区で、うち12選区は平地原住民、13選区は山地原住民。投票率は、67～70%。最多当選期数の議員は7期目。 ○委員会は、程序委員会、第1～6審査委員会、法規審査委員会、規律委員会。 ○事務局は105名。秘書長、副秘書長の下に秘書、議事組、総務組、法制室、公共関係室、資訊室、秘書室、文書室、人事室、会計室、各審査委員会弁公室で構成。 ○3月3日に、パートナーシティの東京都から議員団が来訪するなど東京都と交流しているが、他の日本の自治体との交流は今後の課題。		

調査項目	台湾の地方における海外との地域間交流の状況と今後の展望		
調査都市等	台中市政府	調査日	4月16日
調査結果概要	○台中市は台湾中西部に位置する台湾屈指の工業都市として発展。2017年に人口規模で新北市に次ぐ台湾第2位の都市(約280万人)となった。 ○市長は、中国国民党初の女性直轄市市長(盧秀燕:2028.12.25～)。 ○台中国際空港、自由貿易港の台中港、高速鉄道の台中駅が位置し、半導体大手のTSMCなどが入る中部科学園區を擁し、商工業と物流の中核都市となっている。 ○大学は国立・私立を含め14(うち科技大が8)と人材育成上の拠点となっている。 ○日本の自治体との交流は、友好都市8(群馬県等)、パートナー都市1(名古屋市)と活発。2023年7月には、北杜市と台中市政府観光局で自転車イベントを核とした観光交流協定を締結するとともに、高級スーパー裕毛屋での物産展を開催。 ○台中市副市長や観光旅遊局長等と面談し、山梨県への訪問について要請するとともに、相互にメリットのある交流について検討を行っていくことについて言及した。		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
渡辺大喜	今回の視察は、通常では見ることのできない台湾の陸・海・空の物流の拠点や企業内部を訪問することができた。台湾にはTSMCや鴻海など世界を代表する企業があり、経済成長も著しく国民の生活水準も日本と大差がないと認識した。国内マーケットが縮小する中で台湾からの観光客のさらなる受け入れや、県内農畜産物の輸出は必須である。今後においてもしっかりと交流を深め、有効な関係を築いていきたい。

6-1 調査状況（写真：時系列順）

○R6年 4月15日 調査先（ 台北市「LION TRAVEL」

）



LION TRAVEL 会議室にて

浅川会長より御挨拶



富士北麓地域のオーバーツーリズムなどについて意見交換

右が経営企画総経理



LION TRAVEL ホールにて

左から6人目が総経理

6－2 調査状況（写真：時系列順）

○R6年 4月16日 調査先（ 新北市議会

）



新北市議会ブリーフィンググループにて



陳鴻源副議長の歓迎挨拶

・新北市議会紹介ビデオ放映



新北市議会議場にて

右から3人目が陳副議長

6-3 調査状況（写真：時系列順）

○R6年 4月16日 調査先（ 台中市「裕毛屋スーパー」

）



裕毛屋入口付近売場

愛媛県物産展のコーナー

- ・デコポン2個入（2500円）
- ・清見オレンジ2個入（2900円）
- ・甘平2個入（2000円）



裕毛屋レジ付近売場

山梨県物産コーナー

- ・谷桜 純米大吟醸（6600円）
- ・ロリアンワイン メルロー樽熟成（5320円）
- ・フェリチタ ドレッシング（495円）



裕毛屋バックヤード

会長（中央）との意見交換

6－4 調査状況（写真：時系列順）

○R6年 4月16日 調査先（ 台中市政府との意見交換

）



台中市政府との意見交換

- ・ 黄國榮 副市長（浅川会長の右隣）
- ・ 観光旅遊局長（右奥2人目）
- ・ 観光旅遊局 旅遊行銷科長（右奥1人目）



台中市政府 黄國榮 副市長



観光旅遊局 旅遊行銷科長

6-5 調査状況（写真：時系列順）

○R6年 4月17日 調査先（ 新北市「台北港自由貿易港区」

）



台北港ブリーフィングルーム

董事長より企業概要と事業紹介



台北港の埠頭

ガントリークレーンとコンテナ



ロビーにて記念撮影

右から6人目が董事長

6－6 調査状況（写真：時系列順）

○R6年 4月17日 調査先（ 桃園市「大園長栄物流センター」

）



大園長栄物流センター
ブリーフィングルーム

長栄物流 董事長から企業概要と
事業概要説明



大園長栄物流センター
ブリーフィングルーム

事業説明後の意見交換



大園長栄物流センター外観

記念撮影

左から6人目が董事長

6－7 調査状況（写真：時系列順）

○R6年 4月17日 調査先（ 桃園市「遠雄航空自由貿易港区」

）



遠雄航空自由貿易港区
ブリーフィングルーム

董事長より企業概要と事業概要
説明



遠雄航空自由貿易港区外観

構内視察



遠雄航空自由貿易港区
ブリーフィングルーム

< 記念撮影 >

左から4人目が行政院秘書長(日
本の内閣官房長官に相当) ※
現交通部長官(国土交通大臣に
相当)

左から5人目が董事長

6－8 調査状況（写真：時系列順）

○R6年 4月18日 調査先（ 台北市「梅林水果行（フルーツショップ）」 ）



店舗外観

台北市中心の商店街に店を構える高級フルーツショップ



店内ショーケース

贈答品中心の品ぞろえ

<日本産フルーツ価格>

- ・リンゴ（富士）6個入 7500円
- ・デコポン5個入 9500円
- ・温室マスクメロン1個 17500円



梅林水果行

オーナー一族の袁君氏と意見交換

6－9 調査状況（写真：時系列順）

○R6年 4月18日 調査先（ 台北市「微風スーパー」

）



微風（Breeze）スーパー入口

< 記念撮影 >

- ・前列中心 社長
- ・後列右から3人目 日本食品輸入事業者 商田実業 董事長



フルーツ売場

< 日本産青果価格 >

- ・デコボン10個入 18400円
- ・リンゴ（富士）2個入 2100円
- ・アンコールオレンジ13個入 11500円
- ・鹿児島産薩摩芋350円/100g



< 日本産米売場 >

- ・山梨県産スーパームーン 3250円/2kg
- ・島根県産つや姫 2900円/2kg
- ・新潟県産こしひかり 2900円/2kg

< 日本酒売場 >

- ・花の舞スパークリング7750円